

全日本卓球選手権(ジュニアの部)香川県予選会にあたっての安全対策ガイドライン

1. 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合には十分な感染症対策を行う。ただし、全国や県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

- (1) 顧問・指導者は必ず、選手および保護者に参加の意思を確認し、大会参加を強要することがないように配慮する。
- (2) 発熱等の症状がみられる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に關しても顧問・指導者は選手の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合は速やかに帰宅させること。

2. 大会中の具体的な感染症対策

- (1) 無観客試合とする。会場への入場は選手、顧問、指導者（アドバイザー）、役員のみとする。ただし、小学生以下の選手については選手1名につき2名まで保護者の入場を認める。会場への入場はチーム毎とし、入口で顧問・指導者から選手の健康状態を報告することとする。
- (2) 競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などの基本的な感染症対策を徹底する。
- (3) 会場出入口には消毒液を設置し、トイレには石鹸を準備する。
- (4) 参加者の手が触れる場所を定期的にアルコール消毒する。
- (5) 観覧席は密を避けるため1席以上空けて着席させ、応援は拍手のみとする。
- (6) 更衣室の利用については短時間・少人数で利用するよう指導する。

3. 試合中の具体的な感染症対策

- (1) 各台に1個アルコール消毒液を準備し、選手及び審判は試合前後に手指消毒する。
- (2) 選手同士および選手と審判の握手は行わない。
- (3) 素手で卓球台に触れないようにする。
- (4) 自分の試合中以外はマスクを着用する。
- (5) タオルや飲料は共有を避け、個人のものを使用させる。
- (6) 日本卓球協会制定のガイドラインに沿った特別ルールを適用することがある。